

これからは

第5回しまね医療観察研修会

# 「クライシス・プラン」をつくっておこう

松江

2019年3月2日(土) 13:00から16:30 (受付12:30から)

病状悪化時の対応方法について、あらかじめ医療者と患者で話し合い作成される医療観察発の支援ツール“クライシス・プラン”。一般精神医療や児童福祉の分野で応用された実践のご紹介と、明日から現場で活用できるクライシス・プランのワークショップをおこないます。

## 実践報告1

### 措置入院の地域移行における実践

……板倉理恵さん

島根県立こころの医療センター 地域生活支援室 作業療法士

……山崎純子さん

島根県立こころの医療センター 集中治療病棟 看護師

## 実践報告2

### 医療観察法医療におけるクライシス・プランを 応用した児童福祉実践

……狩野俊介さん

八戸学院大学健康医療学部人間健康科学科 講師

## \* クライシスプラン

症状等の変化に素早く気づいて、本人と支援者が協力して対処するための個別的プラン。病状が悪化し、入院等が必要な場合でも、あらかじめ双方が合意した内容に沿って対処することが可能となる。疾病自己管理や周囲の効果的な支援のため医療観察法で活用されているほか、一般精神医療、更生支援等への応用が期待されている。

- ① 安定した状態を続ける
- ② 具合が悪くなり始めに早めに気づいて自分でできることをする、また周りの人に助けてもらう
- ③ 具合が悪くなったときの自分でできることをする、また周りの人に助けてもらう  
そのために具合の良いときにあらかじめ決めておく計画

## ワークショップ

### クライシス・プランで実現する攻めと守りの支援

……野村照幸さん

国立病院機構さいがた医療センター 臨床心理士



[会場] 松江テルサ 大会議室 (松江市朝日町478-18)

[対象] 精神保健福祉、更生支援等の専門職

[定員] 80名

[参加費] 無料

[申込み方法] 別紙FAX用紙で申込みください

〆切 2月22日(金)

●主催 しまね医療観察研究会 ●助成 共生社会を創る愛の基金



## Profile



### 野村照幸(のむらてるゆき)さん

さいがた医療センター 臨床心理士

「どうしたら医療が患者さんのやりたいことをもっとやれるように“攻め”の支援ができるだろう」、「どうすればもっと患者さんの良い状態をキープして、悪化した場合でも早めに立て直すような“守り”の支援ができるんだろう」といったことをテーマに医療現場で13年実践と研究に取り組んでいる。

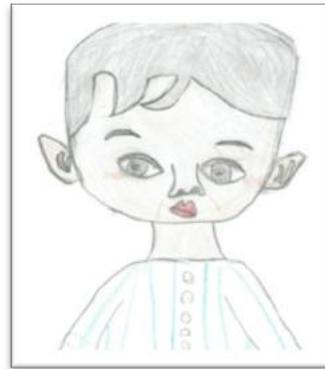
臨床実践としては主に医療観察法医療に関わっている。重大な他害行為を行った精神障害を有する対象者の治療として、再他害行為防止と社会復帰を目的に個別面接や集団心理療法を行っている。今年からアディクション治療にも取り組んでおり、動機づけを高めるための集団プログラムを行っている。

研究では統合失調症の方への集団認知行動療法や今回の研修テーマである「クライシス・プラン」について、事例報告やスタッフへの研修プログラムの効果研究を行っている。2017年2月からは「クライシス・プラン研究会」を立ち上げ、南は沖縄から北は北海道まで、幅広い参加者と共にクライシス・プランの実践について情報交換し、実践や普及のサポートをしている。

クライシス・プランを通して、医療が画一的なものではなく、患者・ユーザーの個別性に応じた柔軟なものになること、そして患者さんの「やりたい」を後押しする“攻め”の支援と患者さんの「良い状態のキープ」を後押しする“守り”の支援を実現することを目指している。

趣味はサッカー観戦、ラーメン屋めぐり、写真、旅行、家族が食べられないくらいめっちゃくちゃ辛い麻婆豆腐を作って食べる(ヤママロの「陳麻婆豆腐」がおすすめ)、楽しくお酒を飲むこと。基本的に面倒くさがりで省エネ体質。スマホゲームにはまって時間を無駄にし、自己嫌悪に陥ることが度々ある。

著書：訪問看護と介護 2017年6月号 特集 これからは「クライシス・プラン」をつくっておこう



### 狩野俊介(かのうしゅんすけ)さん

八戸学院大学健康医療学部人間健康学科 講師

新潟県生まれ。国立病院機構さいがた病院(現在、さいがた医療センター)にソーシャルワーカーとして勤務する。心神喪失者等医療観察法に基づく入院医療や精神科デイケアに関する業務などに従事し、志を同じくする戦友と“SDSG(クライシス・プランの作成につながる心理教育プログラム)”、“さいがTea(病棟内喫茶プログラム)”などに取り組む。その後、岩手県教育委員会スクールソーシャルワーカー、児童自立支援施設の子自立支援専門員などを経験。児童の問題行動に対してクライシス・プランを用いた支援の展開し、“GLP(クライシス・プランの作成につながるストレスマネジメントのテキスト)”を作成する。現在は、八戸学院大学健康医療学部人間健康学科に講師として勤務しつつ、東北福祉大学大学院総合福祉学研究科博士課程に在籍し、ソーシャルワークの観点からクライシス・プラン実践のあり方について研究中。「実践も研究も教育も楽しく!」をモットーにしている。

趣味はスポーツ観戦、サウナ、献血、お風呂でビールを飲むのが至極の時

### しまね医療観察研究会

触法精神障がい者の社会的包摂を目指し、精神医療の専門職や司法関係者を対象とした研修会の企画運営、地域ネットワークづくりに取り組んでいる。代表：島根県立こころの医療センター小林孝文院長

[問い合わせ]

松江保護観察所 社会復帰調整官室  
Tel 0852 21 3774